

Combi

コンビ チャイルドシート THE Sシリーズ

取扱説明書 品質保証書付

お子さまの安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- 本書はベースカバーの収納ポケットに保管してください。
(6ページ参照)
- 品質保証書に、必要事項をご記入ください。

本製品は、UN R129/03において認可された特定車両ISOFIXチャイルドシートです。

- ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。
ただし、ISOFIX取付金具(バー)を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書を確認してください。

ご使用の向き	お子さまの条件
後向き	身長：40cm～105cmまで
前向き	身長：76cm～105cmまで かつ 月齢15ヵ月以上

※体重が19kgを超えるお子さまには使用できません。



⚠危険

お子さまの身長が76cmかつ月齢が15ヵ月以上になるまでは、前向きで使用しないでください。

⚠注意

お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。

お使いいただく前に

車への取り付け・
取りはずし

各部の使いかた

お手入れ・その他

もくじ

お使いいただく前に

お使いいただく前に	2
各部のなまえ	3
ご使用の条件	7
取り付けできる座席	10
取り付けできない座席	11
安全にお使いいただくために	12

車への取り付け・取りはずし

取り付け準備	21
車への取り付けかた	23
取り付け完了チェックのしかた	26
車からの取りはずしかた	27

各部の使いかた

リクライニングのしかた	29
回転のしかた	31
シートの取りはずし、取り付けのしかた	33
お子さまを乗せたシートの持ち運びかた	37
幼児肩ベルト位置の調節のしかた	38
お子さまの座らせかた	40
お子さまの降ろしかた	43
インナークッションの使いかた	44
幌の使いかた	49
カバー・ウレタンの取りはずし、取り付けのしかた	52

お手入れ・その他

お手入れのしかた	55
保管・廃棄のしかた	56
品質保証書	57
問い合わせ先	裏表紙

お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。





〈中古品のご使用について〉

- 使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
 ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

●ご使用前に、「品質保証書」に次の項目を記入してください。

- ①製品名とロットNo. (ヘッドガード裏側(6ページ参照)に貼ってあるシールに記載されています)
- ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③販売店名

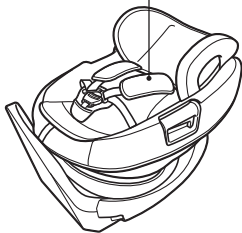
●レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。

※ 本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため実際の製品とは異なる場合があります。

※ シートカバー・インナークッション・幌・肩ベルトカバーなどは製品により仕様が異なる場合があります。また、製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

梱包内容

●本体



●肩ベルトカバー

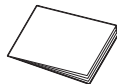
●インナークッション



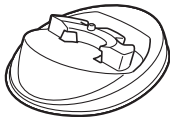
●幌



●取扱説明書(本書)



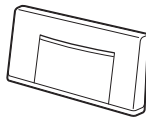
●シートホルダー



●ISOFIX キャップ



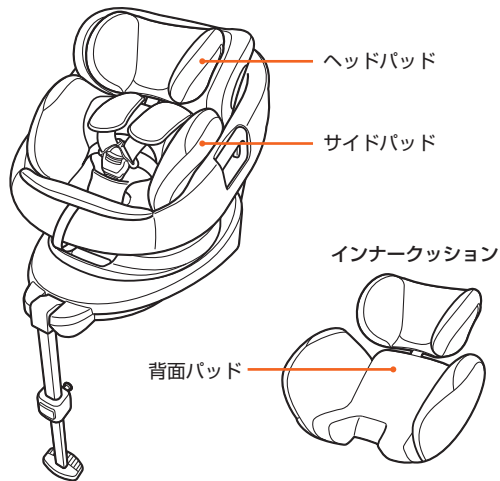
●ベースカバー



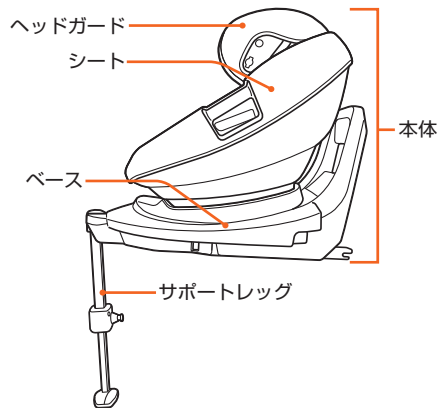
●お客様登録カード



インナークッション装着時



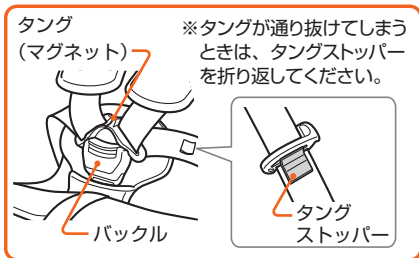
本書で使われる「本体」「シート」「ヘッドガード」「ベース」「サポートレッグ」とは、下記の部位をいいます。



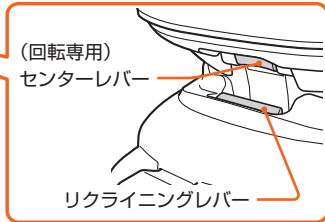
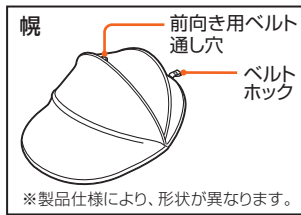
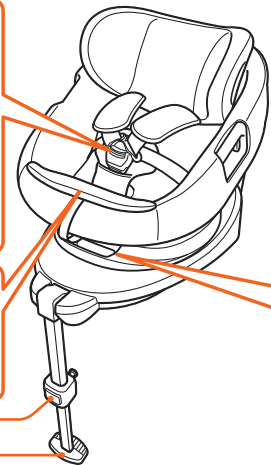
各部のなまえ

お使いいただく前に

正面

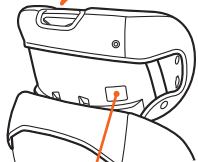
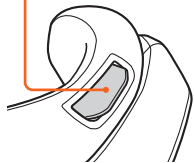


長さ調節ボタン
レッグエンド



背面

ヘッドガード
調節レバー



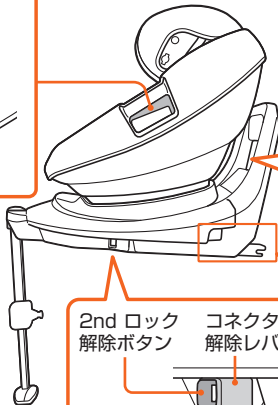
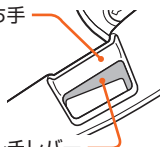
製品名/ロットNo.

側面

(回転・着脱)
マルチレバー

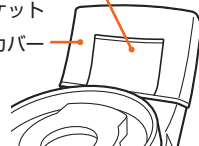
持ち手

マルチレバー



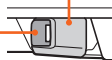
取扱説明書
収納ポケット

ベースカバー

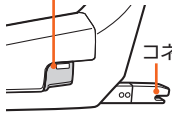


2nd ロック
解除ボタン

コネクター
解除レバー



コネクター調節レバー

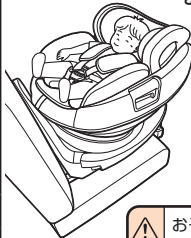



コネクター

ご使用の条件

ここでは、お子さまの身長によるシートの向き、インナークッションの使用条件などを説明しています。

後向き（進行方向に対して後向きに取り付け）

お子さまの条件	インナークッションの使用条件		
身長40cm → 身長105cmまで または体重19kgまで	使用する		使用しない
 危険 お子さまの身長が76cmかつ月齢が15ヵ月以上になるまでは、前向きで使用しないでください。 ワンポイント お子さまの足が車両背もたれにあたるなど、後向きでの使用が体格に合わないと感じた場合は、前向きで使用してください。	身長40cm～65cm未満の場合	身長65cm～75cmまでの場合	身長75cmを超える場合
	 お子さまの体格や成長にあわせ、ベルトが窮屈に感じたときは、使用をやめる 警告 必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。		幼児肩ベルトの位置について インナークッションの使用有無に関わらず、幼児肩ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より低い位置になるように調節して使用してください。

前向き（進行方向に対して前向きに取り付け）

お子さまの条件

身長76cm以上
かつ月齢15ヵ月以上身長105cm
または体重19kgまで

危険

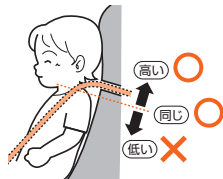
お子さまの身長が76cm
かつ月齢が15ヵ月以上
になるまでは、前向きで使
用しないでください。

インナークッションの使用条件

使用禁止

幼児肩ベルトの位置について

幼児肩ベルトがお子さまの
肩と同じか、肩より高い位
置になるように調節して使
用してください。



ご使用の条件

ここでは、お子さまの体重による持ち運び・シートホルダーの使用条件などを説明しています。

シートホルダーへの取り付け

お子さまの条件

使用可能：体重9kg未満まで

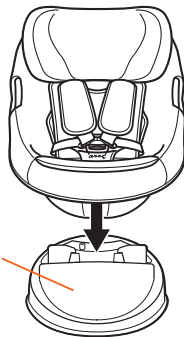
使用禁止：体重9kg以上

※目安となる月齢：12ヵ月ごろ



持ち運びが困難だと感じた場合や、
お子さまの体格に合わないと感じた
場合は、使用しないでください。

- シートをシートホルダーに正しい向きで取り付け、しっかり固定されていることを確認してください。
- インナークッションの使用条件については、7ページを参照してください。
- 取り付けの向きについては、シートホルダーのステッカーを参照してください。



シートホルダー

取り付けできる座席

- ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。
ただし、ISOFIX取付金具(バー)を装備した全ての車両に取り付けられるものではありません。
- ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記のISOFIXサイズクラスに適合しているかご確認ください。

■車種適合の確認

www.combi.co.jp/store/pages/childseat_search.aspx

コンビ 適合



■本製品のISOFIXサイズクラス

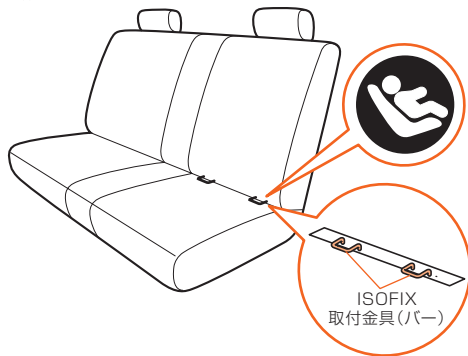
チャイルドシートの向き	固定具
後向き	R2、R3
前向き	F3*

※前向きでリクライニングを1番立てた状態以外で使用するときには記載の全ての着席位置に取り付けられるものではありません。

- ・ 後向きでヘッドガードの位置を高くしたときに、前座席にあたる場合があります。その場合は前座席の位置を調整してください。

ISOFIX取付金具について

ISOFIX取付金具とは、ISOFIXチャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座席の間に装備された金具(バー)です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

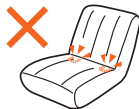


取り付けできない座席

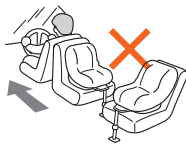
次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

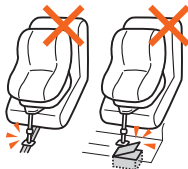
- ISOFIX取付金具(バー)が
装備されていない座席。



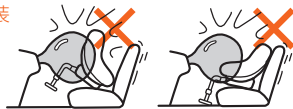
- 進行方向に対して横向き、
または後向きの座席。



- サポートレッグの先端部に座席
のスライドレールや床下収納ス
ペースなどがある座席。



- フロントエアバッグ装
備の座席。
…サイドエアバッグ
のみの場合には
使用できます。



- 座面の凹凸が極端で、
取り付けたときに不安定に
なる座席。



- 床に対して座面が低い座席または高い座席、床の形状などにより、サポートレッグを正しく使用できない座席。



⚠ 危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です

- 使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。



- サポートレッグを収納状態のまま、取り付けしないでください。必ずサポートレッグを出して、長さを調節してください。



- フロントエアバッグ装備の座席では、使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



- 本製品は車両シートベルトで固定することはできません。

安全にお使いいただくために

⚠ 危険

- お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰、正座をしないように注意してください。



- チャイルドシートのシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニングや回転の操作ができない、またはロックできない場合があります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、取りはずせない場合は他の座席に取り付けてください。

⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です

- 幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者のかたが同乗してください。



- バックルにゴミ・飲食物などが詰まって確実に差し込めない場合、または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- 幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- 調節ベルトがシートカバーに固定されていない状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



安全にお使いいただくために

⚠ 警告

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ずコネクターで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげとなることがあります。



- 緊急時に同乗者の脱出のさまたげになる座席には、チャイルドシートを取り付けしないでください。



- タングの磁石がペースメーカーの作動に影響をおよぼすおそれがあります。ペースメーカーをご使用のお子さまを本製品に乗せないでください。

- タングを差し込む際はお子さまの手足や衣類をはさまないように注意してください。

- タングの磁石に異物が付着するおそれがあります。使用前に異物の付着がないこと確認してください。

- 磁気による損傷を受けやすいものはタングに近づけないでください。(磁気カード、腕時計、電子機器など)

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です

- チャイルドシートを車両のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。



- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、十分注意してください。



- 直射日光があたると、本体や差込タンクなどが熱くなり、お子さまがヤケドをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。



- 走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。



安全にお使いいただくために

⚠ 注意

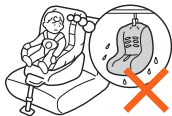
- チャイルドシートを通常のいすとして使用すると、転倒してケガをするおそれがあります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。



- 拘束や調節操作をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。



- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 座席の表皮素材(革など)や形状によっては、座席に傷や跡がつくおそれがあります。

⚠ 注意

- 車両座席に、クッションや座布団など厚いものを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。



- チャイルドシートを風雨にさらさないでください。
- 幼児ベルトを持ってチャイルドシートを持ち運びしないでください。

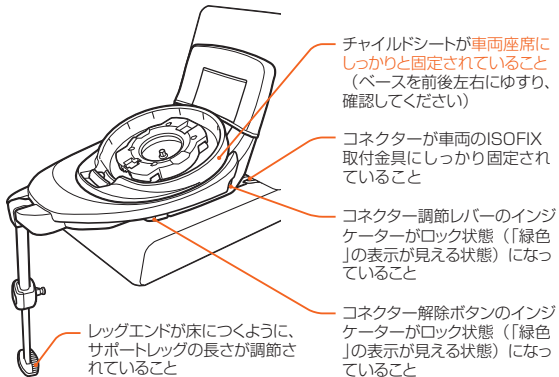
安全にお使いいただくために

お使いいただく前に

⚠ 日常の点検

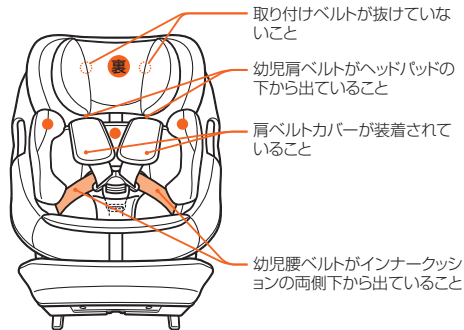
チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

車への装着



幼児ベルト・インナークッションの装着(イラストは後向き使用例)

●部分にウレタンやクッション材が入っていること

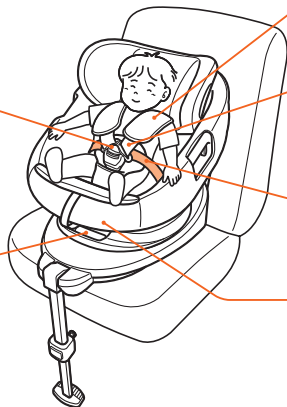


⚠ 日常の点検

お子さまの着座（イラストは前向き使用例）

差込タンクがしっかりとバックルに差し込まれ、差込表示が「緑色」になっていること

リクライニングのレバーが正規の位置に戻っていて、シートが確実に固定されていること。



幼児ベルトが正しい位置に調節されていること
首に近いところを通り、開きすぎていないこと

幼児ベルトがお子さまの体にフィットしていること
（調節ベルトを引いてフィットさせてください）



警告

- 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず**幼児腰ベルト**を低く下げる

回転操作後、レバーが正規位置に戻っていて、シートがロックされ確実に後向きまたは前向きになっていること。

取り付け準備

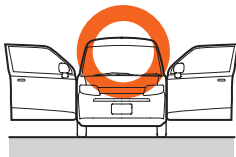


- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- 本製品は車両シートベルトで固定することはできません。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
- サポートレッグを収納状態のまま、取り付けないでください。

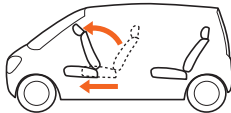
下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。
www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html



- 1 ① 取り付け作業は、ドアの全開操作が可能で、平らな場所で行う。

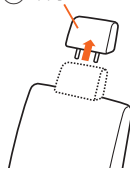


- ② 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付ける。

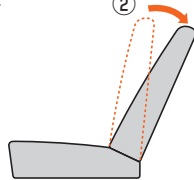


- 2 ① 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずす。
※ 取りはずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。
- ② 車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。

- ① 車両ヘッドレスト



- ②



ワンポイント

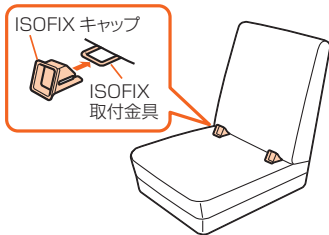


車両ヘッドレストが取りはずせない場合は、1番上まで上げてください。

車両ヘッドレスト



3 ISOFIXキャップをISOFIX取付金具に差し込む。



ワンポイント



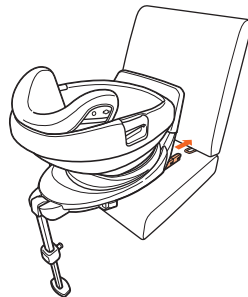
ISOFIX取付金具が車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIXキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両シートによっては取り付けるとベース背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。



ワンポイント



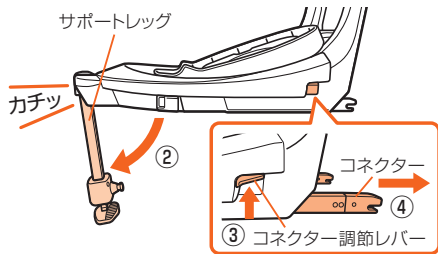
- シートは取りはずさなくとも車に取り付けることができますが、シートを取りはずすことで、車に取り付けしやすくなります。
- シートを取りはずさずに車に取り付ける場合、車への取り付けかたはベースのみ先に取り付ける場合と同じです。(「車への取り付けかた」参照)
- シートは、後向きと前向きの2通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは同じです。



車への取り付けかた

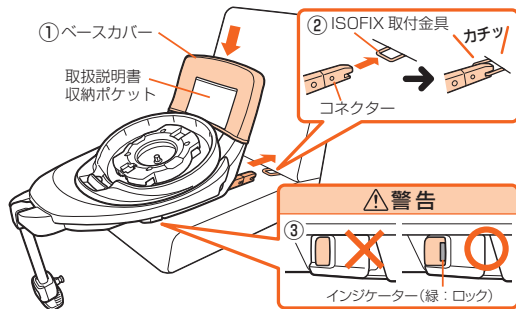
本製品は、後向きと前向きの2通りの使用方法がありますが、取り付けかたは同じです。

- 1**
- ① シートを取りはずす。
(「シートを取りはずし、取り付けのしかた」参照)
 - ② サポートレッグを「カチッ」と音がるまで引き出す。
 - ③ ベース側面のコネクター調節レバーを押し上げながら、
 - ④ コネクターを最大まで引き出す。
- ※ 左右それぞれ作業を行ってください。



⚠ 警告 必ずベースカバーを使用してください。

- 2**
- ① ベースカバーを取扱説明書収納ポケットが内側になるように取り付ける。
 - ② 左右のISOFIX取付金具に「カチッ」と音がるまで、コネクターを差し込む。
 - ③ インジケーターがロック状態(「緑色」の表示が見える状態)になっていることを確認する。



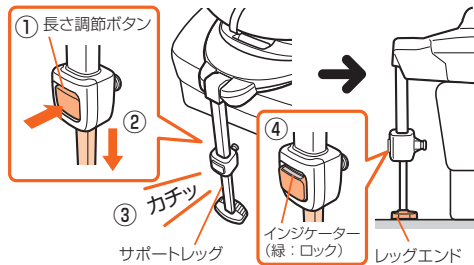
- 3** ① 左右のコネクター調節レバーを押し上げながら、
 ② ベース背面が車両背もたれに接するまで強く押し込み、手を離す。
 ③ インジケーターがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。「緑色」であっても可能なかぎり押し込むことで、しっかりと固定できます。



警告

サポートレッグ操作時は、手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。

- 4** ① サポートレッグの長さ調節ボタンを押しながら、
 ② サポートレッグが車両床面に触れるまで伸ばす。
 ③ 長さ調節ボタンを離し、「カチッ」と音がするまで、さらにサポートレッグを伸ばす。
 ④ インジケーターがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。

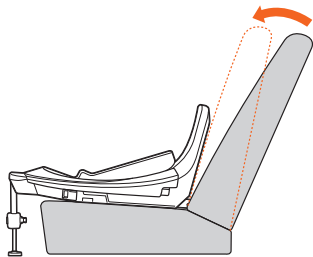


危険

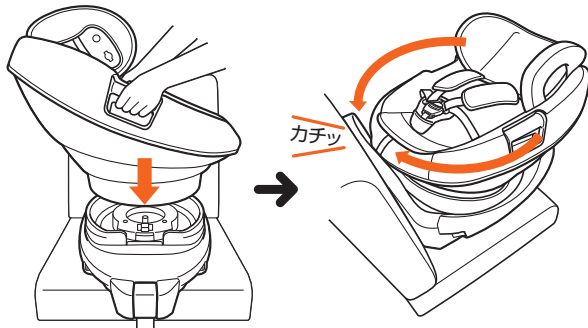
調節後は、サポートレッグのレッグエンドが必ず床についていることを確認してください。

車への取り付けかた

- 5** 車両背もたれがリクライニングできる場合は、ベース背面とのすき間ができるだけ小さくなるよう、角度を調節する。



- 6** シートを取り付ける。
〔シートの取りはずし、取り付けのしかた〕参照)



取り付け完了チェックのしかた

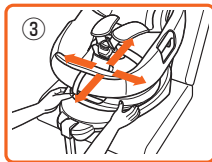
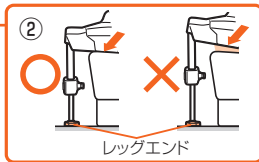
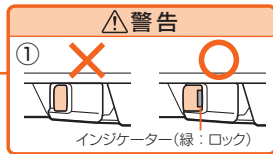
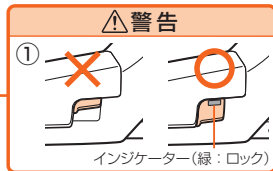
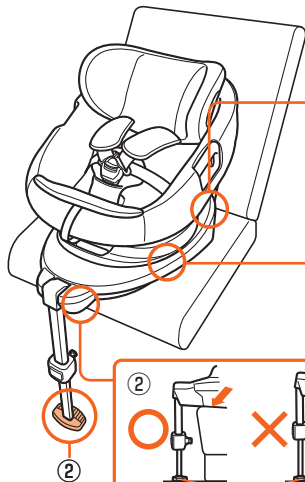
取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ① インジケーターがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていること。
- ② サポートレッグのレッグエンドがしっかり車両の床につくように長さが調節されていること。（無理に突っ張る必要はありません）車両シートとベースにすき間が発生しないように調節する。
- ③ ベースを持ち、前後左右にゆすり、しっかり取り付けられていること。
ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。

ワンポイント

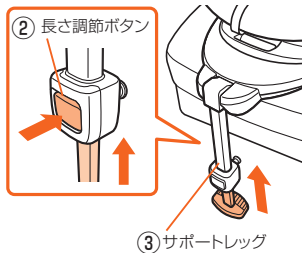


車両によってはシートのひじかけなどがインジケーターを隠し、目視での確認が困難な場合があります。その際は、ISOFIX取付金具へコネクターを差し込み時に左右のコネクターが「カチッ」と音がするまで差し込まれたことを確認してください。その際にベースを持ち前方向に引っ張り、ベースが動かさず左右差による斜め取り付けがなく、しっかり取り付けられていることを確認した後に、②③の完了チェックを行ってください。

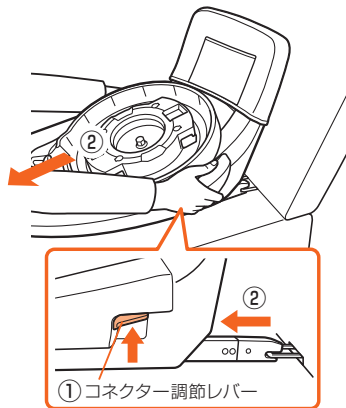


車からの取りはずしかた

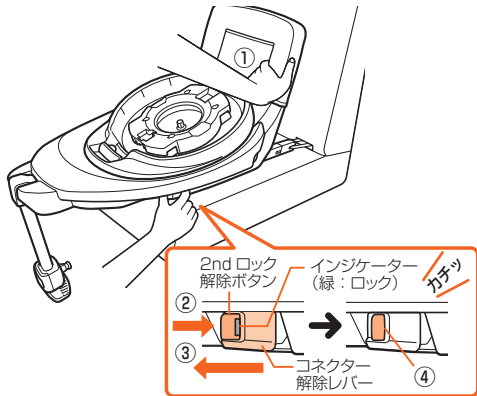
- 1** ① シートを取りはずす。
(「シートの取り付け、取り付けのしかた」参照)
② サポートレッグの長さ調節ボタンを押しながら、
③ サポートレッグを短くする。



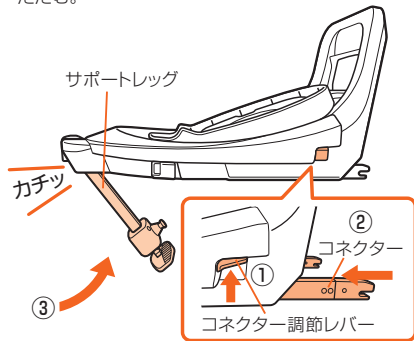
- 2** ① 左右のコネクター調節レバーを押し上げながら、
② ベースを手前に引く。



- 3**
- ① ベースの背面を片手で抑えつける。
 - ② 片側ずつ2ndロック解除ボタンをしっかりとつまみながら、
 - ③ コネクター解除レバーをまっすぐ手前に引く。
 - ④ インジケーターがロック解除(「緑色」の表示が見えない状態)になっていることを確認する。



- 4**
- ① ベース側面のコネクター調節レバーを押し上げながら、
 - ② コネクターを収納する。
 - ③ サポートレッグを「カチッ」と音がするまでゆっくり折りたたむ。



警告

サポートレッグ操作時は、手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。

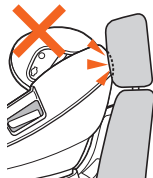
リクライニングのしかた

「後向き」および「前向き」使用時、お子さまの体重に関わらず、5段階に角度を調節することができます。

チャイルドシートのシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。

- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
 - 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。
- ※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。

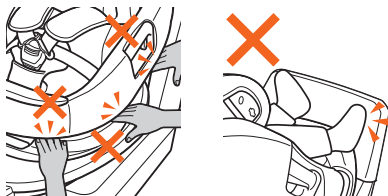
⚠警告



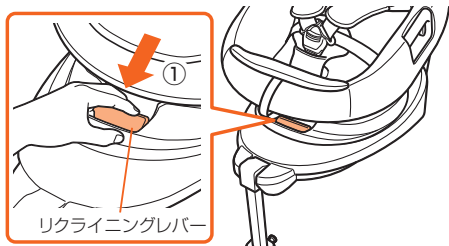
各部の使いかた

- シートの背部やリクライニングの下部のすき間に指や手などを入れたまま、リクライニング操作をしないでください。
- 「後向き」使用時、リクライニング操作の際にお子さまの足が本体とベースのすき間にはさまらないように注意して行ってください。
- 同乗者の手元にも十分ご注意ください。
- リクライニング操作は、必ず車を停車させて行ってください。
- リクライニングおよびベースのすき間にゴミや飲食物などの異物が入ると故障の原因になりますのでご注意ください。回転およびリクライニング操作を行う際、動作不良が生じた場合は当社コンシューマープラザまでお問い合わせください。

⚠注意



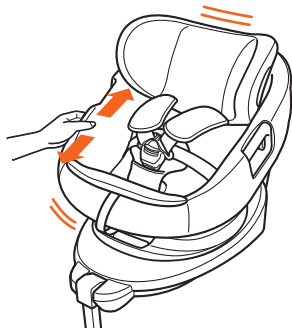
- 1** ① リクライニングレバーを手前に引きながら、
② シートのリクライニング角度を調節する。
(前向き/後向きともに5段階)



注意

- リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

- 2** リクライニングレバーから手を離してシートを前後にゆすり、ロックされていることを確認する。



警告

操作後、リクライニングレバーが「カチッ」と音がして、元の位置に戻り、シートが固定されていることを確認してください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)

回転のしかた

どのリクライニングの角度でも、お子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シートを回転することができます。

⚠️ 危険

シートを横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。



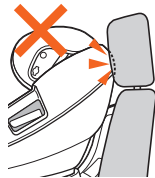
⚠️ 警告

操作後、「カチッ」と音がしてシートが固定されていることを確認してください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）

⚠️ 警告

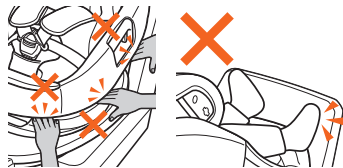
シートが車両ヘッドレストにぶつかって回転操作ができない場合があります。

- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
 - 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。
- ※ ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。



⚠️ 注意

- ベース背面やシートの背面、リクライニングの下部のすき間に指や手などを入れたまま、回転操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
- 「後向き」使用時、回転操作の際にお子さまの足が本体とベースのすき間にはさまらないように注意して行ってください。
- リクライニングおよびベースのすき間にゴミや飲食物などの異物が入ると故障の原因になりますのでご注意ください。回転およびリクライニング操作を行う際、動作不良が生じた場合は当社コンシューマープラザまでお問い合わせください。

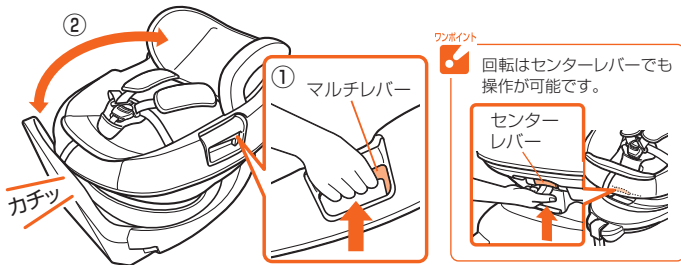


ワンポイント



車両にあたり回転できない場合は、ヘッドガードの高さを調節して回転操作を行ってください。（ヘッドガードの高さの調節のしかたは39ページの手順2参照）

- 1** ① マルチレバーの片側をしっかりとぎりシートをまわし、
 ② 動き始めたらマルチレバーのにぎりを緩め、「カチッ」と音がしてロックするまで、シートを「後向き」または「前向き」にまわす。



危険

- シートを横向きにしたまま走行しないでください。本来の機能を果たさず危険です。
- 走行中は回転操作をしないでください。

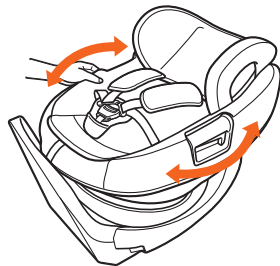


注意

- 回転操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

- 2** シートを前後左右に動かし、確実にロックされていることを確認する。

※ 回転構造上シートに遊びがあり、カタカタと音が出ますが、問題なく使用できます。



警告

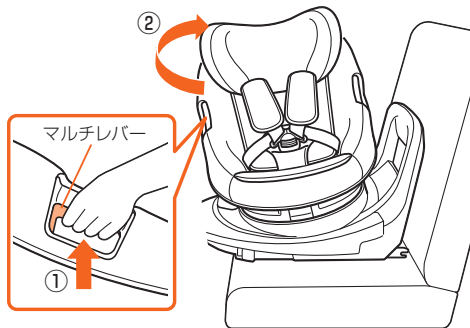
- 操作後、「カチッ」と音がしてシートが固定されていることを確認してください。
 (衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)

シートの取りはずし、取り付けのしかた

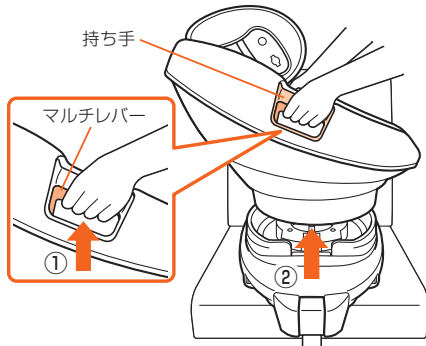
車両への取り付けをやすくするため、シートを取りはずすことができます。

ベースから取りはずす

- 1** ① 片側のマルチレバーをにぎりながら、
② シートをベースに対し90°まわす。
（「回転のしかた」参照）

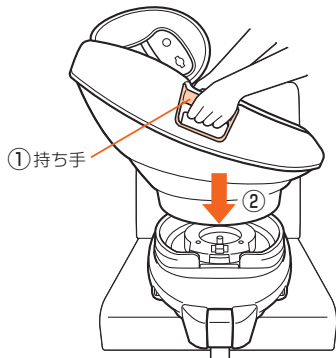


- 2** ① 両側のマルチレバーをにぎりながら、
② シートを持ち上げる。
※ 片側だけの操作ではシートは持ち上がりません。

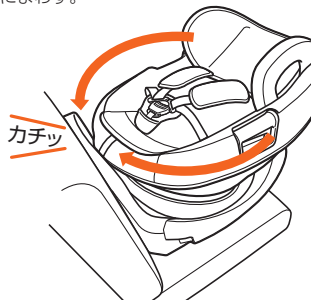


ベースに取り付ける

- 1** ① シートがベースに対し、90°になるように持ち、
② シート底面をベースの円形状に合わせて置く。



- 2** 「カチッ」と音がしてロックするまで、シートを「後向き」または「前向き」にまわす。



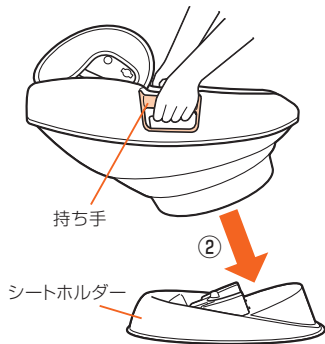
- 取りはずし、取り付け操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをされるおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

シートの取りはずし、取り付けのしかた

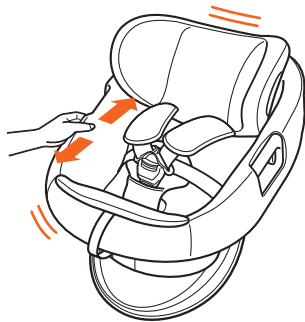
シートをシートホルダーに取り付けることによって、室内でもお子さまを乗せて使用することができます。

シートホルダーに取り付ける

- 1** ① シートホルダーの向きが正しいことを確認し、
② シート底面をシートホルダーの円形状に合わせて置く。

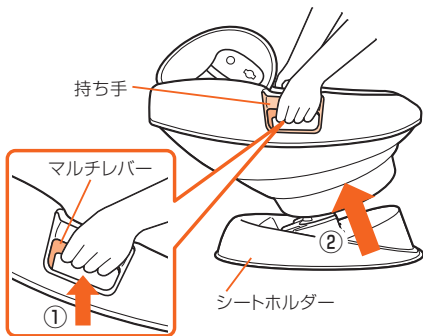


- 2** シートをゆすってもガタつきがなく、固定されていることを確認する。



シートホルダーから取りはずす

- ① 左右両側の持ち手にあるマルチレバーを握りながら、
 - ② シートを持ち上げる。
- ※ 片側だけの操作ではシートは持ち上がりません。



危険

- お子さまを座らせる目的以外（踏み台や遊具など）でシートホルダーを使用しないでください。
- 室内でお子さまを乗せる場合は、必ず保護者の目の届く範囲で使用し、シートの座面には立たせないでください。



警告

- お子さまを乗せたままシートホルダーを動かしたり、床を引きずって移動させないでください。
- このシートホルダーはベッドとして代用できるものではありません。お子さまに睡眠が必要な場合には、適切な場所に寝かせてください。
- シートホルダーに乗せるときも必ず幼児ベルトを使用し、お子さまと幼児ベルトの間に大人の手ひらが入る程度に調節してください。
- シートホルダーは床置き専用です。持ち運びの際は持ち手を握りシートホルダーをはずしてから、シートのみを持ってください。
- テーブルの上などの高い場所や、大人用いすの上で使用しないでください。
- 持ち運び・室内での使用の際は、必ず調節ベルトをたたんでベルト調節口にしまい込んでください。



注意

室内で使用する際は、1時間程度を目安にお使いください。

お子さまを乗せたシートの持ち運びかた

シートを持ち運ぶ

- 1** ベースまたはシートホルダーからシートを取りはずす。
〔シートの取りはずし、取り付けのしかた〕参照



危険

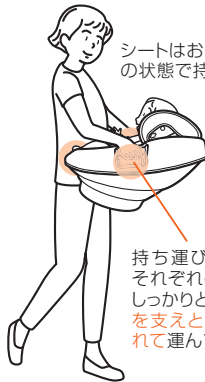
お子さまを乗せたシートを持つときは、必ず両手でそれぞれのマルチレバーを握ってください。



警告

- 持ち運びのお子さまの使用条件は9kg未満までですが、その体重に満たない場合でも、持ち運びが困難だと感じた場合やお子さまの体格に合わないと感じた場合は、お子さまを乗せて持ち運びしないでください。
- 障害物への対応で一時的にシートを直置きする場合は、ぬかるみや砂利などシートの底面が汚れるような場所へ置くことは避け、平らで安定した地面に置くようにしてください。
- 階段や段差のある場所では、足元に十分注意してください。

- 2** シートを持ち運ぶ。



シートはお子さまと対面の状態で持ってください。

持ち運びの際は必ず左右それぞれのマルチレバーをしっかりと握り、**両手と腹部を支えとし、均等に力を入れて運んでください。**

幼児肩ベルト位置の調節のしかた

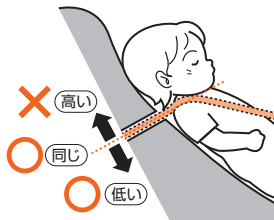


お子さまの成長にあわせ、幼児肩ベルトの位置を変えて使用します。幼児肩ベルトの位置は、8段階に調節することができます。はじめてご使用になる際も、必ず肩ベルトの高さをご確認ください。

幼児肩ベルト位置の目安

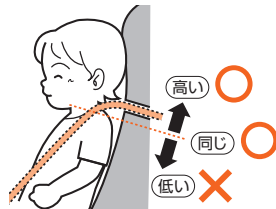
●後向き使用時

インナークッションの使用有無に関わらず、幼児肩ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より低い位置になるように調節して使用してください。

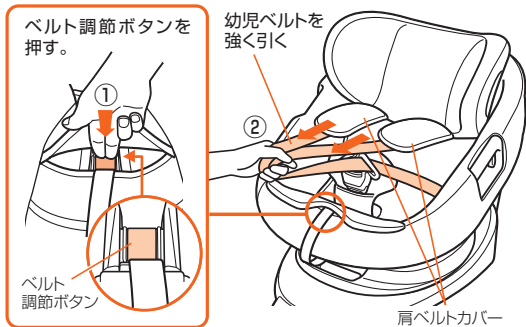


●前向き使用時

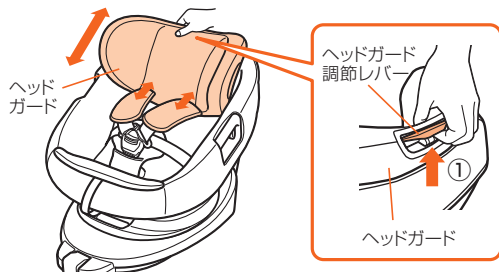
幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より高い位置になるように調節して使用してください。



- 1** ① ベルト調節ボタン(奥側)を押しながら、
 ② 左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
 ※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 2** ① ヘッドガード調節レバーを引き起こしながら、高さを調節する。
 ② 適切な位置でヘッドガード調節レバーから手を離し、
 ③ ヘッドガードを上下に動かし、固定されていることを確認する。
 ※ヘッドガードに連動して幼児肩ベルト位置も上下します。

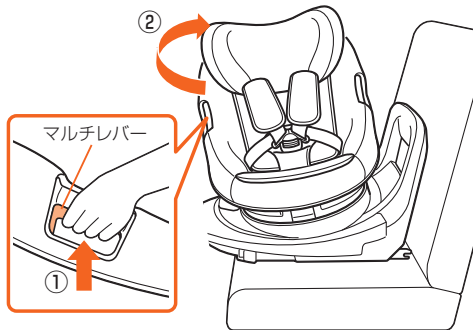


幼児肩ベルト位置を調節すると、幼児ベルトが締まったり、ゆるんだりします。
 お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、幼児肩ベルト位置を調節しないでください。

お子さまの座らせかた

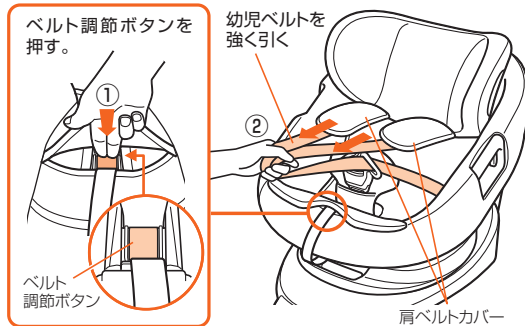


- 1** お子さまを乗せやすくするため、
① マルチレバーを押し上げながら、
② シート正面をドア側にまわす。



シートを横向きにしたまま走行しないでください。
横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。

- 2** ① ベルト調節ボタン(奥側)を押しながら、
② 左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



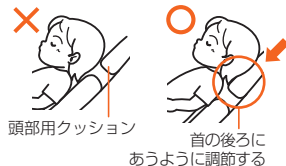
お子さまの座らせかた

- 3** ① バックルボタンを押し、タングをはずす。
 ② お子さまを深く座らせ、腕を左右の幼児ベルトに通す。
 ③ 左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。
 ④ インナークッション頭部後ろにあるクッションの位置を調節する。



インナークッション使用の場合には、以下にご注意ください。

- ② お子さまを深く座らせてください。幼児ベルトなど正しい装着がしやすくなります。
- ④ 頭部後ろのクッションの位置を調節してください。

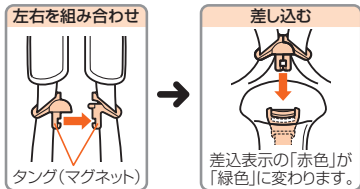


警告

- お子さまを乗せるときは、厚手の上着は脱がせてください。しっかりと拘束できない場合があります。
- おくるみなど、両足が分かれられない衣類の着用はおやめください。
- お子さまをタオルなどでくるんだまま、座らせないでください。
- お子さまを座らせるときには、右図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



- 4** ① 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまで、バックルに差し込む。
② バックルのインジケーターが「緑色」に変わっていることを確認する。



危険

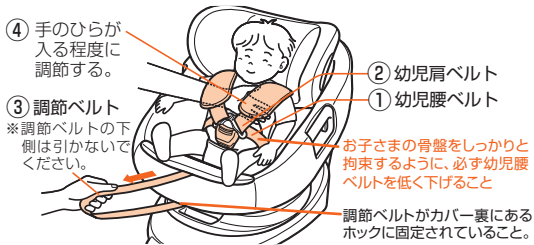
- チャイルドシートの差込タングがしっかりバックルに差し込まれ、表示が「緑色」に変わっていることを確認してください。
- タングをバックルに差し込んでもインジケーターが「緑色」にならないときは、使用しないでください。

ワンポイント



- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。
- 左右のタングを組み合わせないと、バックルに差し込めません。

- 5** ① 幼児腰ベルトは、骨盤をしっかりと拘束するように、低く下げる。
② 幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
③ 調節ベルトを手前に引き、
④ お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。



警告

必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

- 6** シートを後向き、または前向きにまわす。

お子さまの座らせかた

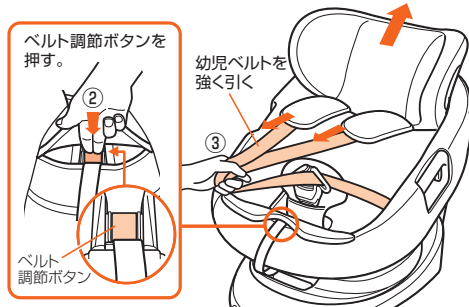
ワンポイント



インナークッションを付けた状態で、幼児ベルトを最大に伸ばしても短いと感じる場合にはヘッドガードの高さを最上段まで引き上げ、幼児ベルトを引き出し、ヘッドガードの高さを元に戻してください。

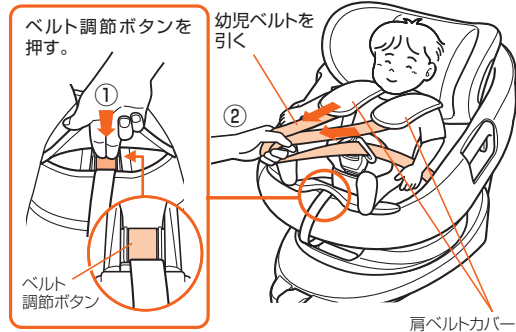
※ お子さまを乗せる際は必ずヘッドガードをお子さまの身長に合わせた高さに戻してからご使用ください。

① ヘッドガードを最上段まで引き上げる



お子さまの降ろしかた

- ① ベルト調節ボタン（奥側）を押しながら、
- ② 左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。
※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。
- ③ バックルボタンを押し、タンクをはずす。
- ④ お子さまを降ろす。



インナークッションの使いかた



お子さまの身長によって使いかたが異なります。

後向き (進行方向に対して後向きに取り付け)

使用する

身長40cm～65cm未満の場合

身長65cm～75cmまでの場合

使用しない

身長75cmを超える場合

警告

必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。



お子さまの体格や成長にあわせ、ベルトが窮屈に感じたときは、使用をやめる



- ※ インナークッションは製品により、仕様が異なる場合があります。
- ※ 製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

前向き (進行方向に対して前向きに取り付け)

使用禁止

危険

インナークッションは、誤った取り扱いをすると本来の機能を果たさず危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。

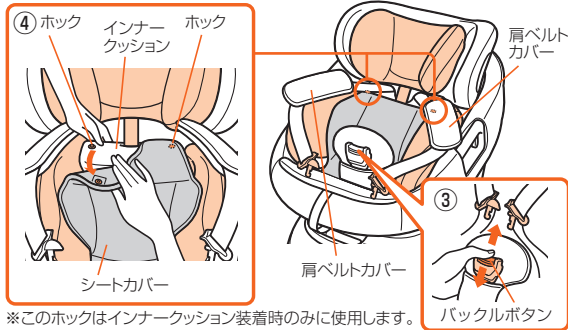
注意

はずしたインナークッションを車内に放置しないでください。車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。

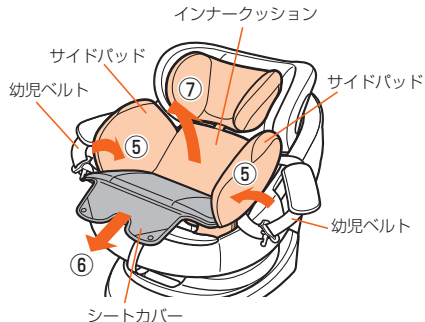
インナークッションの使いかた

インナークッションの取りはずし

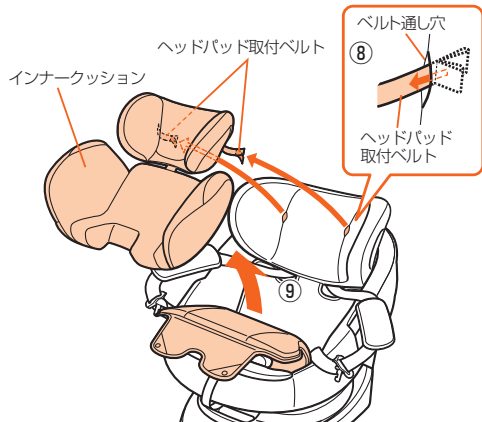
- ① ベルト調節ボタン（奥側）を押しながら、左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。（「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照）
- ② ヘッドガードを引き上げる。（「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照）
- ③ バックルボタンを押し、タングをはずす。
- ④ 背面部のシートカバーとインナークッションをつなぐホックを2カ所取りはずす。（肩ベルトカバー下にあります）
- ⑤ 左右の幼児ベルトからサイドパッドをくぐらせ、
- ⑥ シートカバーをイラストのように手前に引きながら、
- ⑦ インナークッションを引き出す。



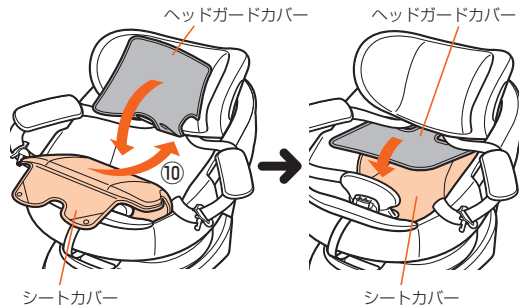
※このホックはインナークッション装着時のみに使用します。



- ⑧ ヘッドガード両側のベルト通し穴にインナークッションヘッド
 パッド取付ベルトの先端を引き抜き、
 ⑨ インナークッションを取りはずす。



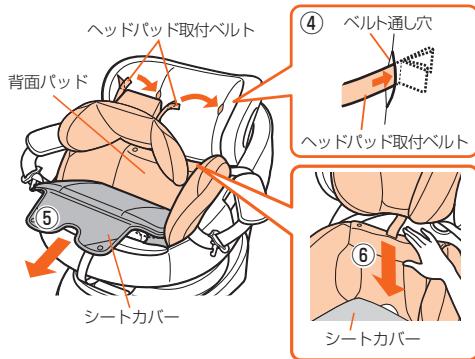
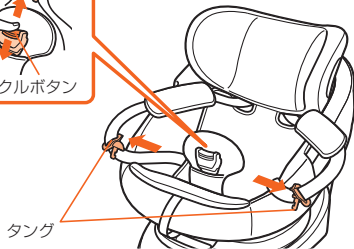
- ⑩ 手前に引き出したシートカバーをヘッドガードカバーの下に差し入れる。



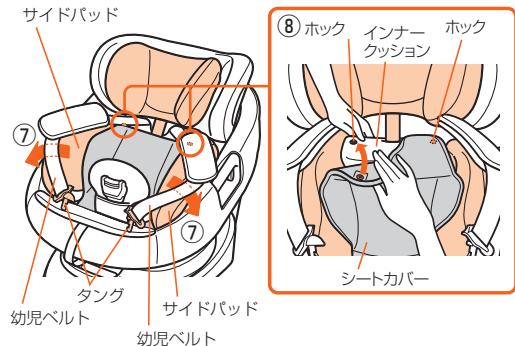
インナークッションの使いかた

インナークッションの取り付け

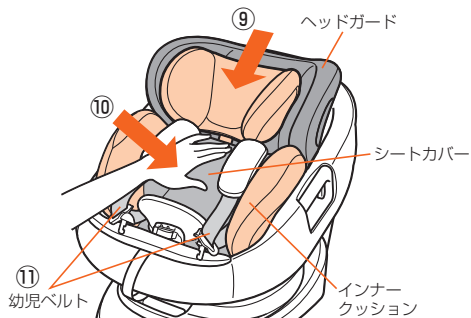
- ① ベルト調節ボタン(奥側)を押しながら、左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
(「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照)
- ② ヘッドガードを引き上げる。
(「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照)
- ③ バックルボタンを押し、タングをはすす。
タングは外側に出しておく。
- ④ インナークッションヘッドパッド取付ベルトの先端をヘッドガード両側のベルト通し穴に深く差し込む。軽く取付ベルトを引っ張り、抜けないことを確認する。
- ⑤ イラストのように重なっていたシートカバーを手前に引きながら、
- ⑥ 背面パッドを底に押し込む。



- ⑦ 左右の幼児ベルトにサイドパッドを通す。このとき、タングが中に埋まらないように引き出しておく。
- ⑧ 背面部のシートカバーとインナークッションをつなぐホックを2カ所取り付ける。(肩ベルトカバー下にあります)

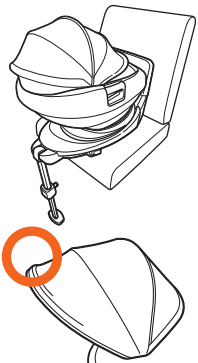
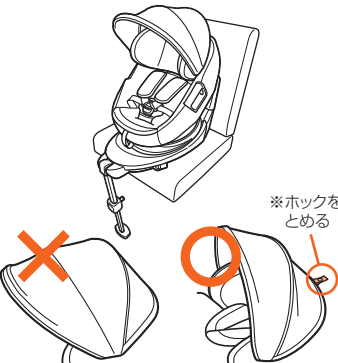


- ⑨ ヘッドガードを下げ、お子さまに合わせた高さに調節する。(「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照)
- ⑩ シートカバーの上からインナークッションを押し込み、奥に入っていることを確認する。
- ⑪ 幼児ベルトが正しい位置から出ていることを確認する。(日常点検「幼児ベルト・インナークッションの装着」参照)



幌の使いかた

シート向きによって使いかたが異なります。

後向き	前向き
	
全て開いた状態で使用可能 ※取りはずした状態でも使用 できます。	全て開いた状態で は使用しないこと 小さくたたみ、「日よ け」として使用可能 ※取りはずした状態 でも使用できます。



警告

- 幌は、誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触するおそれがあり危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。
- 「前向き」使用時は幌は小さくたたんで使用するか、取りはずしてください。



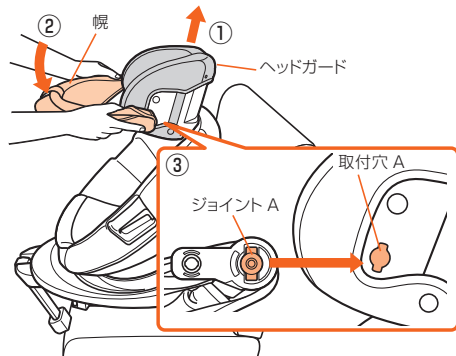
注意

- チャイルドシートを持ち運ぶときは、幌を持たないでください。製品が破損する原因となります。
- 幌に、おもちゃやサンシェードなどを取り付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。

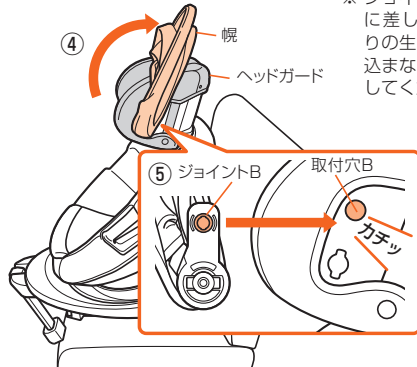
※ 幌は製品により、仕様が異なる場合があります。
※ 製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

幌の取り付けかた

- ① ヘッドガードを引き上げる。
 (「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照)
- ② 幌を小さくたたむ。
- ③ 左右のジョイントAをヘッドガード側面の取付穴Aに形を合わせて、差し込む。



- ④ ジョイントAを中心に後方にまわしながら、
- ⑤ 左右のジョイントBをヘッドガード側面の取付穴Bに「カチッ」と音がするまで差し込む。



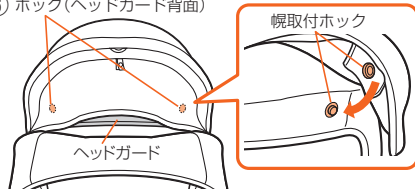
※ ジョイントを取付穴に差し込む際は、周りの生地などを巻き込まないように注意してください。

幌の使いかた

幌の取り付けかた

⑥ 幌背面のホック(2カ所)をヘッドガードカバーの幌取付ホックに取り付ける。

⑥ ホック(ヘッドガード背面)

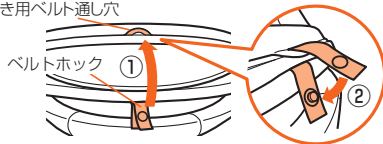


幌背面左右のホック(2カ所)が、ヘッドガードカバーに取り付けられていることを確認してください。

前向きで使用するとき

- ① 幌背面にあるベルトホックを幌上部にある前向き用ベルト通し穴に通し、
- ② ホックでとめる。

前向き用ベルト通し穴

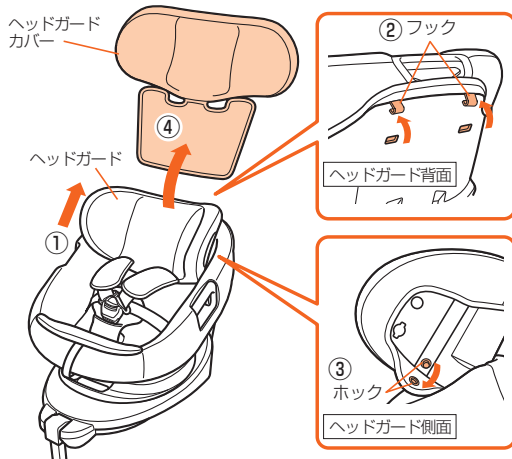


カバー・ウレタンの取りはずし、取り付けのしかた



ヘッドガードカバーの取りはずしと取り付け

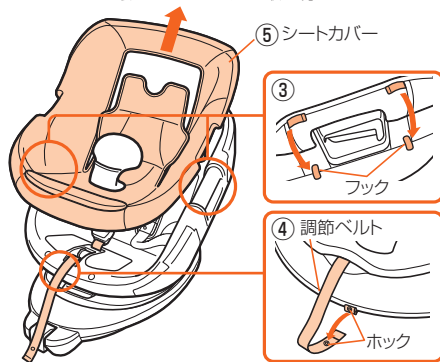
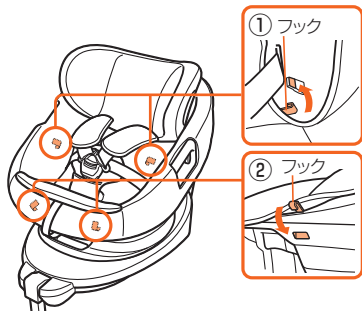
- ① ヘッドガードを引き上げる。
〔幼児肩ベルト位置の調節のしかた〕参照
 - ② ヘッドガードカバー上部裏のフック (2カ所) を取りはずす、または取り付ける。
 - ③ ヘッドガードカバー左右裏のホック (2カ所) を取りはずす、または取り付ける。
 - ④ ヘッドガードカバーを取りはずす、または取り付ける。
- ※ ヘッドガードに取り付けているクッション材を割らないようにご注意ください。



カバー・ウレタンの取りはずし、取り付けのしかた

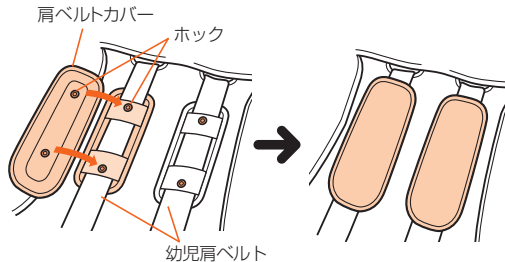
シートカバーの取りはずしと取り付け

- ① 座面の奥側のフック(左右各1カ所ずつ)を取りはずす、または取り付ける。
- ② シートカバー前側のフック(2カ所)を取りはずす、または取り付ける。
- ③ シートカバー側面のフック(左右各2カ所ずつ)を取りはずす、または取り付ける。
- ④ 調節ベルト先端のホックをシートカバー裏側から取りはずす、または取り付ける。
- ⑤ シートカバーを取りはずす、または取り付ける。



肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け

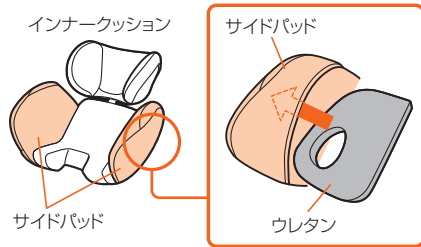
ホック(2カ所)を取りはずす、または取り付ける。



- ※ 肩ベルトカバーは製品により、仕様が異なる場合があります。
- ※ 製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

インナークッションのサイドパッドウレタンの取りはずしと取り付け








インナークッションのサイドパッド裏面のポケットから中のウレタンを取りはずす、または取り付ける。
取り付ける際は、縫製品の形状に合うように穴が開いている部分から差し込んでください。



お手入れのしかた

シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。洗濯上の注意

	液温は40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		アイロン仕上げ禁止
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ドライクリーニング禁止
	タンブル乾燥禁止		非常に弱い操作によるウエットクリーニングができる
	日陰のつり干しがよい		

- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 洗濯機をご使用の際は、お使いの洗濯機の取扱説明書をよくお読みの上、洗濯してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおすすめします。
- 干すときは十分にすすぎ、軽く脱水し、形をととのえてください。
- シートカバーを洗濯するときは、背面に入っているクッションを取りはずしてください。
- インナークッションを洗濯するときは、頭部、座面、両サイドに入っているクッションを取りはずしてください。

- シートカバーなどの縫製品に凹みやシワが発生した場合は、スチームを軽くあててください。

幌のお手入れのしかた

- 幌は液中につけず、洗剤を入れた水、またはぬるま湯をつけたスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水分を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- 製品の特性上、若干色あせすることがあります。

本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトを傷めるおそれがあります。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本 体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光があたらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、ベースカバーの収納ポケットに保管してください。(6ページ参照)

廃棄のしかた

- お住まいの各自自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。

下記のホームページをご覧ください。

www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html

『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後8年」です。標準使用期間を経過した場合、材料の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険をまねくおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート(領収書)と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

品質保証書 コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

	製品名	ロットNo.	保証期間
	(ヘッドガード裏側のシールをご覧ください)		お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お客様	お名前		お買い上げ日
			年 月 日
販売店	ご住所 〒	TEL	
	店名	TEL	

修理メモ

保証規定

- 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
 - 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。
 - 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) シートカバーなど、縫製部品の傷ややぶれ。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
 4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
 5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
 6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
 - 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - 領収書(レシート)を本書と一緒に保管してください。
 - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマープラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

The logo for Combi THE S シリーズ is located in the top left corner. It features the word "Combi" in a bold, sans-serif font, with "コンビ" (Combi) in Japanese below it, followed by "THE S" and "シリーズ" (Series). The text is contained within a dashed orange triangle pointing downwards and to the right.

Combi

コンビ
THE S
シリーズ

コンビ株式会社

■ ホームページ
■ オンラインストア(部品購入窓口)

combi.co.jp
combi.co.jp/store

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間: 9:30~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) /西日本担当

受付時間: 10:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシューマープラザホームページ combi.co.jp/soudan